

効果的なセミナーの受け方

皆さんは主体的に生きていますか？意識しないで普通に生きてると受身に人生を送ることになります。世の中は「作用する人」と「作用される人」とに分かれます。「作用する人」が成功の人生を送ることになります。セミナーを受けるときや本を読むときも実は、この2つに分かれます。今回「効果的なセミナーの受け方」というテーマでご紹介しますが、この「セミナー」を「本」に変えて「効果的な本の読み方」と考えることもできます。

まず意識していないと左下の図のように、講師の言うことをメモするという受身の聞き方になります。これでは「良いことを学んだ！」という満足感で終わります。ですから、このようなメモは取らないことをお勧めします。外側から与えられたものでは、なかなか実践に結びつきません。右の図は、潜在意識で聴きます。「聞く」と「聴く」の感じの違いに注目してください。「聞く」は人間が持って生まれた能力です。誰でも聞くことができます。「聴く」は、感覚で聴くという感じですが、これはスキル(技術)だと思います。身体全体で、明確な目的を持って、注意深く聴くのです。人間の潜在意識には、ものすごい能力が眠っています。すべての問題解決の力は、実は、すべての人が、すでに持っているのです。その内なる声を聞くことが一番大切です。これを別名、「気づき」とか「インスピレーション」と呼んでいます。この気づきをメモしていただきたいと思います。このメモは価値があります。これは外から与えられたものではなく自分で見つけた、あるいは、たどり着いた答えなので、実践に結びつくのです。これが「効果的なセミナーの受け方」です。

